

症 状	考えられる原因	処 置
人がいないのに点灯してる	電源をONにした。	電源をONにした直後は電球が点灯⇒消灯します。約1分後に設定したモードで動作します。
	検知エリア内に植物がある。	人以外の熱源を検知しセンサーが動作することがあります。
	検知エリア内にペットなどの動物がいる。	検知範囲を調整するか熱源を取り除いてください。
検知エリアに人がいるのに消灯した。	夜	
	検知エリア内で動かなかった。	検知エリア内にいても動きがない場合にはセンサーが反応しません。動くと点灯します。
	電球が切れた。	壁スイッチ（電源）をOFFにしてから新しい電球に交換してください。
	周りが明るくなった。	周りが明るくなると消灯します。

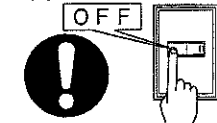
●なお、対策を行っても同じ現象が続く場合は、直ちに電源を切り、お買い上げの販売店に、器具の形式（器具銘板に表示してあります。）、現象を連絡のうえ、ご相談ください。

保守とお手入れ

常に明るくご使用いただくために定期的にお手入れをしてください。

■お手入れの際や、電球の交換の際は必ず電源を切る。

*感電の原因となります。



必ず守る

■器具のお手入れ

●器具が虫やほこりなどで汚れたら、乾いた柔らかい布で軽くはたきおとす。汚れが落ちない場合は、柔らかい布に石けん水を浸してよくしぼったのちふき取り、乾いた柔らかい布で仕上げる。石けんとは天然油脂を原料としたものです。（商品表示が“石けん”であることを確認してください。）



必ず守る

■みがき粉やベンジンなどでふいたり、熱湯や殺虫剤をかけない。

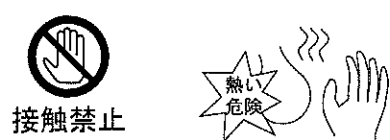
*傷、変色の原因となります。



禁止

■点灯時および消灯直後は電球が熱くなっているので、触らない。

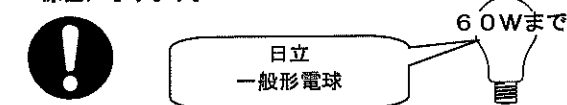
*やけどの原因となります。



接触禁止

■必ず指定の電球を使用する。

*指定以外の電球を使用しますと、器具が過熱し火災の原因になります。



必ず守る

お客様メモ

後日のために記入しておいてください。

サービスを依頼されるときにお役にたちます。

購入店名

電話

ご購入年月日

年 月 日

日立ライティング株式会社

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2-5-2
電話 (03) 3255-5256

取扱説明書

保存用

日立白熱灯器具

HITACHI
Inspire the Next

人検知センサーつき
シーリングライト

LC6645H

このたびは日立白熱灯器具をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに大切に保存してください。

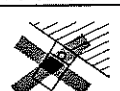
安全上のご注意

警告

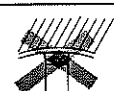
- この器具は、天井面取り付け専用です。
- このような場所には、取り付けない。



落下・器具
破損による
けがの原因
禁止 となります。



傾斜天井



補強のない天井



船底天井

- 器具の取り付け工事は、電気工事店（有資格者）に依頼する。
*しろうと工事は危険です。また、法律で禁じられています。
- 器具の改造、構成部品（ソケットなど）の交換はしない。
*火災・感電・故障の原因となります。
- 器具のすきまに金属類（ヘアピン・針金など）を差し込まない。
*感電・故障の原因となります。
- 器具に布や紙・ポリ袋などをかけない。
*過熱し、火災の原因となります。

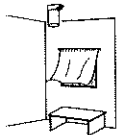
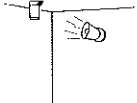
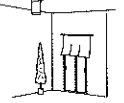
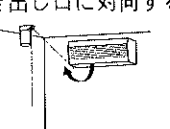
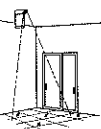
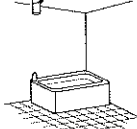
注意

- 定格電圧 交流100V以外で使用しない。
*過熱し、火災の原因となります。
- 必ず指定の電球を使用する。
*器具の異常過熱の原因となります。
- 浴室などの湿気が多い場所や常時温度の高い場所（35℃以上）では、使用しない。
*絶縁性能が低下し、火災・感電の原因となります。
- お手入れの際や、電球交換の際は、必ず電源を切る。
*感電の原因となります。
- 点灯時および消灯直後は、電球が熱くなっているので触らない。
*やけどの原因となります。
- 器具にボールなどの物をぶつけたり、衝撃を与えない。
*器具の落下によるけがの原因となります。

器具を取り付ける前に

- 器具の性能を確保するため、設置場所は十分検討の上決定してください。
- 一つの壁スイッチには1台でご使用ください。(一つの壁スイッチで2台以上の器具を取り付けると、同時に連続点灯に切り替わらない場合があります。)

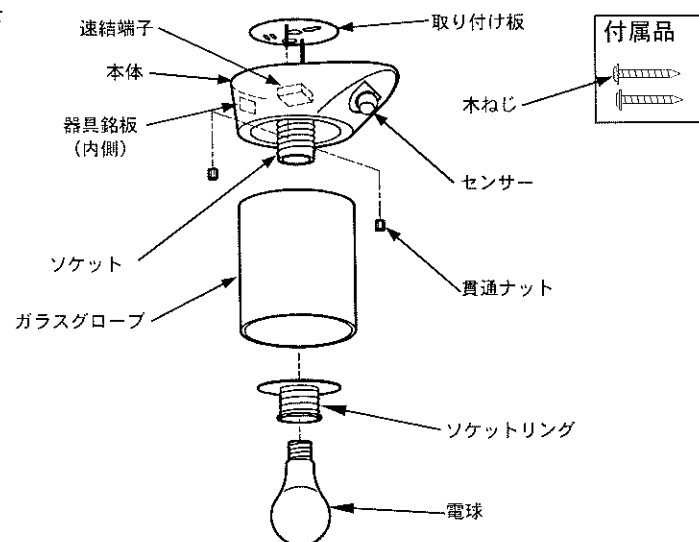
- 器具は検知エリアを考慮して設置してください。
- 器具取り付け高さは1.5m以上3m以内に設置してください。
- センサー正面に向かって人が近づくような位置にしますと、検知エリアに沿って人が接近した場合、器具のごく近くまで人が近づかないと検知しない場合があります。
- センサーの特性上、検知エリアを人が横切る位置に設置しますと、センサーの人体検知の信頼性がより向上します。
- 次のような場所には、取り付けない。(誤作動したり、動作しない場合があります。)

 禁止	検知エリア内に障害物がさえる場所 	強い光が直接センサー部に当たる場所 	風などでよく揺れるのれんや、植物などがある場所 
	エアコンの吹き出し口の近く、吹き出し口に対向する場所 	大理石などの反射の強い床面がある場所 	蒸気や熱気が直接センサーに入る場所 

各部の名称

図は取り扱いを説明するため、一部省略抽象化した共通図です。

- 下図を参照して、各部品をお確かめください。



仕様

器具	仕様	定格電圧	消費電力	適合電球
LC6645H		交流 100V	60W	60W一般形電球 (口金:E26)

アフターサービス

- もしこんな現象が起きたときは・・・故障と思われる前に下表にしたがってお調べください。

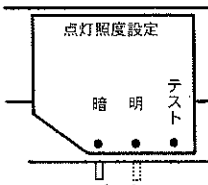
症 状	考えられる原因	処 置
人が近づいても点灯しない	電球が切れている	壁スイッチ(電源)をOFFにしてから新しい電球に交換してください。
	壁スイッチ(電源)がOFFになっている。	壁スイッチをONにしてください。
	センサーの表面が汚れている。	柔らかい布で汚れを落としてください。
	厚手の服を着ている。	センサーは熱に反応するため厚手の服に体温が閉じ込められ反応しない場合があります。
	センサーに周りの照明器具の光が入っている。	センサーの検知部に光が入らないようにしてください。
	器具に向かってまっすぐにすすんでいる。	センサーの正面に向かって近づくと検知しにくい場所があります。センサーの検知部を少しずらしてください。
	電源配線(接続)が正しく行われてない。	お買い上げの販売店・工事店等に依頼してください。
夕方	壁スイッチ(電源)が故障している。	お買い上げの販売店・工事店等に依頼してください。
	点灯照度スイッチが「暗」になっている。	暗くならないと点灯(動作)しないようになっています。スイッチを「明」にしてください。
人がいないのに点灯している	連続点灯モードになっている。 「6ページ」をご参照ください。	壁スイッチをOFFにして4秒以上たってからONにしてください。

設定方法

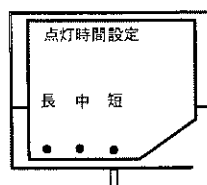
■センサー側面の操作設定スイッチを調整することにより点灯時間を切り替えることができます。
又、壁スイッチの操作で連続点灯させることもできます。

点灯時間設定『短』

1. センサー「点灯照度設定」のスイッチを「明」又は「暗」にしてください。



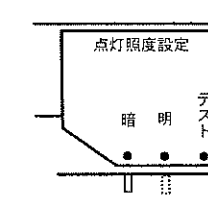
2. センサー「点灯時間設定」のスイッチを「短」にしてください。



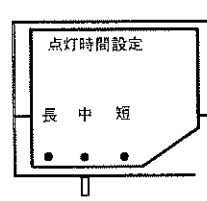
*壁スイッチONにした直後は電球が点灯⇒消灯になりますが故障ではありません。
約1分後に設定したモードで動作します。

点灯時間設定『中』

1. センサー「点灯照度設定」のスイッチを「明」又は「暗」にしてください。



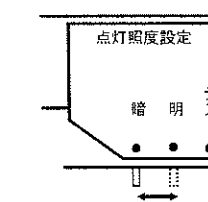
2. センサー「点灯時間設定」のスイッチを「中」にしてください。



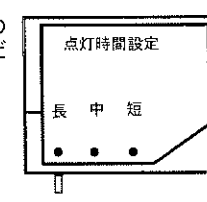
*壁スイッチONにした直後は電球が点灯⇒消灯になりますが故障ではありません。
約1分後に設定したモードで動作します。

点灯時間設定『長』

1. センサー「点灯照度設定」のスイッチを「明」又は「暗」にしてください。



2. センサー「点灯時間設定」のスイッチを「長」にしてください。



*壁スイッチONにした直後は電球が点灯⇒消灯になりますが故障ではありません。
約1分後に設定したモードで動作します。

連続点灯（8時間）

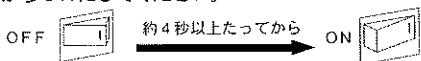
●壁スイッチを操作すると周囲の明るさ、人の検知に関係なく点灯させておくことができます。

1. 壁スイッチを一度OFFさせて

2. すばやくONにする（100%点灯になる）



●連続点灯を解除する時又は、連続点灯中にセンサー待機状態に切り替える場合は、OFFにして4秒以上たってからONにしてください。



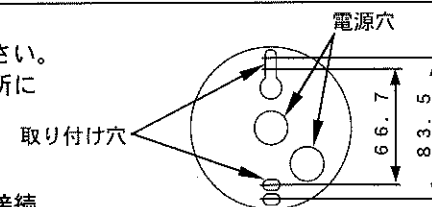
*「ON」直後は電球が点灯⇒消灯になりますが故障ではありません。
約1分後に設定したモードで動作します。

器具の取り付けかた

必ず電源を切ってから作業してください。

1. 本体の取り付け

- (1) 取り付け板の電線穴に電線を通してください。
- (2) 本体を付属の木ねじ2本で補強材のある所に取り付けてください。

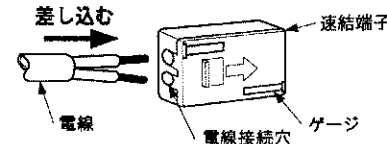


- (3) 電線に保護チューブを通して速結端子に接続してください。

接続のしかた

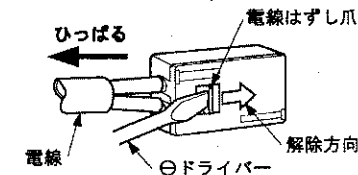
- 電線をゲージに合わせて段むきし、電線接続穴にしっかりと差し込んでください。

●適用電線…φ1.6、φ2.0単線

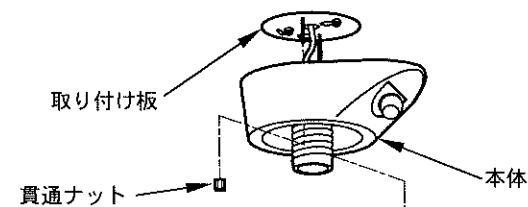


解除のしかた

- ⊖ドライバーを電線はずし爪を解除方向に強く押し、電線をひっぱってください。

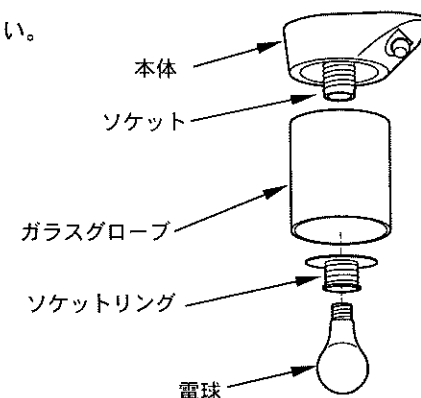


- (4) 本体を貫通ナット2個で取り付け板に確実に固定してください。



2. ガラスグローブの取り付け

- (1) 本体にガラスグローブを挿入し、ソケットリングを右に回して締め込み、確実に固定してください。
- (2) ソケットに電球を取り付けてください。

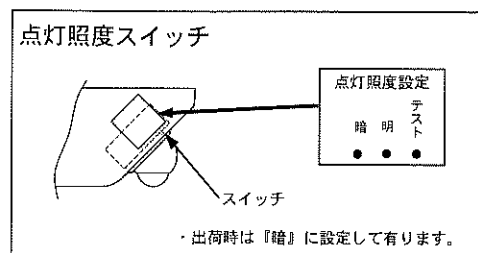
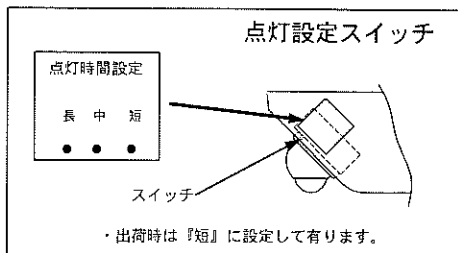


！ ガラスグローブはわれものなので傷などつかないように取り扱いには注意する。
必ず守る

！ 取り付けましたら、ガラスグローブを軽くひっぱり確実に付いているか確認する。
必ず守る

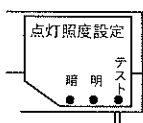
センサーの名称

センサーの側面の動作設定スイッチを調整することにより3つのモードに切り替えることができます。



■設置後検知エリアを決める。テストモード

1. センサー「点灯照度設定」のスイッチを「テスト」に合わせます。

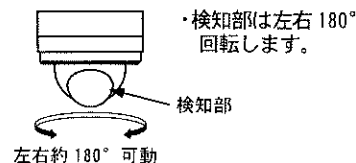


■周囲が明るい時でも、人を検知するたびに、約5秒間全光点灯します。
器具の周囲を歩き、検知エリアの確認、調整を行ってください。

2. 壁スイッチを「ON」にします。

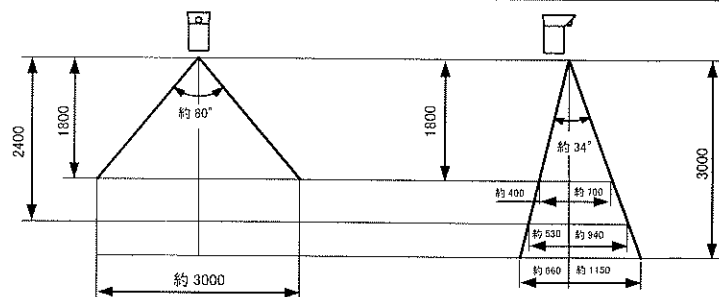
* どのモードでも「ON」直後は電球が点灯⇒消灯になりますが故障ではありません。
約1分後にテストモードで動作します。

3. センサーの検知部を動かして位置を決めてください。
調整後は必ず「暗」または「明」で設定してください。
テストモードの状態では動作を行いますと周囲の明るさに関係なく点灯します。



また点滅が頻繁に繰り返されると電球寿命の原因となります。

■センサーの検知範囲（取り付け高さ2.0m）



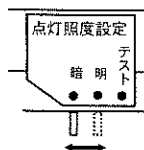
（ご注意）検知エリアは、気象条件などにより差が生じる場合があります。
（特に寒冷地などで、手袋・コートなどの表面温度が低い時、動作しない場合があります。）

4. 点灯させる周囲の明るさを選択します。

「暗」 約15ルクスから点灯します。（目安：陽が沈んだころ）

「明」 約45ルクスから点灯します。（目安：陽が沈みかけたころ）

点灯照度は器具を取り付けられる周囲の明るさによって調整してください。
設定方法に進んでください。「6ページ」をご覧ください。

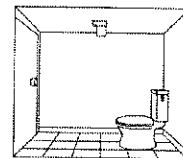


センサー機能について

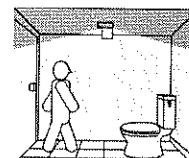
センサーの側面の動作設定スイッチを調整することにより点灯時間を切り替えることができます。
又、壁スイッチの操作で連続点灯させることもできます。設定方法は「6ページ」をご参照ください。

点灯時間設定『短』

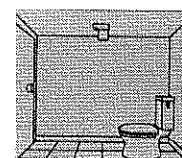
日中は消灯



暗くなって人が近づくと
95%の明るさで点灯

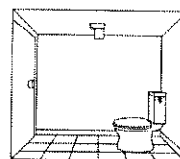


人が居なくなると
約30秒で消灯

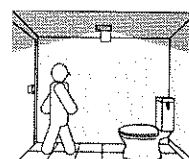


点灯時間設定『中』

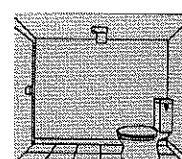
日中は消灯



暗くなって人が近づくと
95%の明るさで点灯

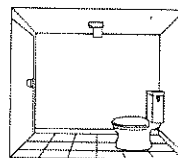


人が居なくなると
約60秒で消灯

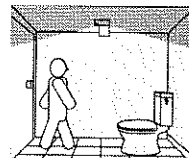


点灯時間設定『長』

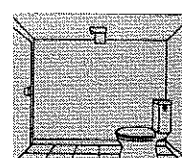
日中は消灯



暗くなって人が近づくと
95%の明るさで点灯



人が居なくなると
約180秒で消灯



連続点灯 人がいなくてもずっと点灯してほしい

壁スイッチを操作して点灯させておく
ことができます。

